

## S. M. 社会システム学科 4年次

### I. 留学レポート

#### ①協定留学を目指した理由（きっかけ、留学を考え始めた時期）

もともと韓国語の勉強を始めたきっかけは、第二言語の授業で一番簡単そうだからという理由からでした。1回生の時はただ単位をとるために何となく勉強して、2回生の夏休みに友達に誘われて KLEP（韓国語夏期集中課程）というソウル女子大学の短期留学に参加しました。その当時の私のレベルは、ただハングルが読めるというだけで、語学堂のクラスも1級の1組で1番初級のクラスでした。留学中は、紹介してもらったソウル女子の学生さんと2人で遊びに行く機会が多かったのですが、コミュニケーションが本当に難しく、自分が韓国語を喋れたらなと思うことが何回もありました。その時に、せっかく仲良くなれたし、もっと色々な話をしたいと思って、韓国語を勉強しよう決めました。勉強を始めてから交換留学に行ってみたいと思うようになったのですが、2回生の時点では応募条件のハングル検定3級に合格できるレベルではなかったため、私が留学に行くチャンスは4回生の1回しかありませんでした。就活と被ってしまうし、すごく悩んだけど、留学に行けるのは学生の中の今しかないと思って、思い切って留学することにしました。

#### ②留学を目指してから出願までの学習方法（役に立った教材など）

私はもともと机に座ってコツコツ勉強をするのが苦手なので、勉強らしい勉強はしませんでした。ただ、なるべく毎日韓国語に触れるようにしました。具体的には、韓国人の友達とメールをしたり、韓国ドラマを見るといったことなどです。

韓国ドラマは字幕付きをひたすら見ていただけですが、見ているうちにこういう場面ではこういう言い方をするんだなっていうのがわかってきて、そこで学んだことを友達に質問してみたり、メールで使ってみました。

この方法で勉強していったら、半年後には合格点ギリギリだったけど、ハングル検定3級に合格できました。

#### ③留学決定から出発までの準備期間（語学勉強、ビザ申請手続きなど）

パスポート、ビザ、航空券、荷物の準備をしました。

パスポートの期限が迫っていたので、まずパスポートを更新しました。パスポートの申請やビザの手続きは書類を揃えたりしないといけないし、発行までにも時間がかかるので、早めにやっておいた方がいいと思います。

ビザは私の調べ方が悪かったのか、インターネットでは必要な書類が正確に出てきませんでした。とりあえず検索して出てきたものをいくつか参考にしながら、大体必要なものを揃えて大使館に行きましたが、地方ごとに必要な書類が少し違うみたいでした。

航空券は1年間有効のチケットをインターネットで購入しました。購入の時点では帰国の日にちがわからないので、大体の日にちで買って置いて、帰国前に電話で変更しました。

#### ④現地到着後

仁川空港からは学校側が手配してくれたタクシーで学校に向かいました。初日はオリエンテーションで、何日後かに語学堂のレベルテストを受けました。内容は筆記と会話試験です。語学堂のクラスは1級から6級まであって、このテストの結果で何級になるのかが決まります。

1番重要な手続きは外国人登録証の申請です。ただ、この申請は学校がやってくれるので、受け取りに行くだけで大丈夫です。この外国人登録証ができたあとに、銀行口座の開設や学生証の発行、ケータイの契約などを済ませました。日本人担当の先生はあまり詳しく教えてくれなかったので、友達に聞いたりしながら、ほとんど自分でやったように思います。私は春学期は正規授業をとっていませんでしたので、語学堂が始まるまでの最初の3週間ぐらいはかなり暇で、この期間の間に買い物に行って身の回りの物を揃えました。

#### ⑤語学研修期間

##### ◆語学研修先の施設・環境について

語学堂の建物は国際教育館と50周年記念館の2つに分かれています。どちらの教室になるのかはその時にならないとわかりません。国際教育館は学校の裏側にあって、森みたいな所を抜けないといけないので、朝は少し辛いです。国際教育館は交換留学生以外の外国人留学生在が住んでいる寮で、1階に教室があります。周りが自然なので、夏は比較的涼しいですが、冬はわりと寒いです。

50周年記念館は私が留学中に完成した建物で、すごくきれいだし、中にはスタバやパン屋さんなどのお店がいくつかあって、フードコートみたいになっています。私はずっと国際教育館だったので、こっちの教室に行く機会はありませんでした。

##### ◆授業内容、課題、試験

授業は朝の9時から13時までで、50分×4時間です。私は1学期に3級、2学期に4級の授業を受けました。3級は似たような文法が多くて、違いを理解するのがちょっと難しかったけど、課題は多くないのでそこまで大変ではありませんでした。4級からは一気に課題の量が多くなるし、グループでやる課題がほとんどです。1番大変だったのが 상황역할(状況劇)という課題で、ペアやグループになってそれまで習った文法やことわざを使って長めの会話文を作らないといけないのですが、文章を作るのにいつも時間がかかりました。

試験は中間試験と期末試験があって、쓰기(書き取り) 읽기(読解) 듣기(聴き取り) 말하기(会話)の4つの科目があります。地道に復習をやっていなかったのですが、試験前日はいつも夜中まで焦って勉強していました。

#### ⑥正規科目履修期間

##### ◆大学の施設・環境について

同女に比べたらすごく広いですが、ソウルの大学の中だと規模は小さいらしいです。

本当に自然が多くて、春には桜が咲くし、秋は紅葉がすごくきれいです。リスも住んでいて、たまに道を横切ったりするので、運が良ければ間近で見ることができます。韓国の大学は基本誰でも中に入ることができるみたいで、週末には小さい子たちもよく遊びに来ていて、公園みたいな感じです。銀行や郵便局と行った日本の大学にはないような施設が学校の中にあるし、カフェもいくつかあります。

学校はソウルの外れにあるので、明洞や弘大などに遊びに行くには1時間ぐらいかかります。学校の周りのお店も他の大学に比べると少ない方なので、その点は残念でした。

#### ◆履修科目

残りの単位はゼミの4単位だけだったので、正規授業は秋学期に2科目だけ受講しました。私はライフマネジメントコース専攻で、ゼミのテーマは教育関係だったので、教育に関わる授業を探しました。

##### ・중급한국어 (中級韓国語)

これは一般教養の授業に入っていますが、語学堂の中級レベル(3級、4級)の外国人学生が受講できる授業です。文法や韓国の昔話の要約などを勉強しました。先生がすごくおもしろい先生だったので、よく笑ったし、毎週授業が楽しみでした。中間試験と期末試験がありましたが、習った内容をしっかり復習すれば大丈夫です。

##### ・부모교육 (両親教育)

子ども学科の授業です。先生が執筆された教科書に沿って、小学校に上がるまでの子どもに、家庭でどういった教育や対応をすればいいのかを勉強しました。パワーポイントを使わない教授だったので、3時間ずっと集中して聞き取るのは疲れたけど、ためになる内容でした。難しかったのは、教授が授業中に指定された小説が試験問題になったので、それを全て読まなければならなかったことと、少人数なので、質問に答えなければいけない場面が多かったことです。レポートが1回と、中間試験と期末試験がありました。試験問題はなんとなく教えてもらえますが、持ち込み不可の論述です。

##### ・미래사회와부모교육 (未来社会と予備両親教育)

一般教養の授業で、人気がある授業のようでした。最初の授業でグループとテーマを決めて、毎週授業の終わりにどこかのグループが発表するという形でした。毎週テーマが違って、恋愛や出産などの女子大生が興味を持つ内容でした。韓国の学生さんはパワーポイントの作り方も上手だし、体験談を面白く話すので、他の人の発表を聞くのは参考になったし、おもしろかったです。ただ、外国人だからなのか、教授はわりと冷たい対応だったので、その点がひっかかりました。発表が1回、レポートが2回、期末テストがありました。

#### ⑦クラブ、課外活動、ボランティア活動

特に何もしていませんでした。

#### ⑧現地での住まい(語学研修期間、正規科目履修期間)について

1学期と2学期を国際生活館、夏休みをシャロムハウスで過ごしました。国際生活館は何年か前に新しく工事をしたので、中は比較的きれいです。調理室、ラウンジ、コンピュータールーム、スタディールーム、トレーニングルーム、自販機、洗濯室があります。シャワーとトイレが共同です。2人部屋で、左右対称にクローゼット、机、ベッドが置いてあって、クーラーと冷蔵庫もあります。ベッドの下には収納できるスペースがあるし、クローゼットの中には金庫もあります。

部屋の壁がとても薄いので、廊下でのおしゃべりは内容が聞き取れるくらい聞こえてきますし、夜ドアの近くで笑ってしまって、寮の先生に怒られることも何回かありました。同じフロアに住んでいた先生がすごく神経質な人だったので、タイミングが悪いと夜ドライヤーをかけるだけで怒られる時があって、それがすごくストレスでした。

罰点は16点溜まったら退寮です。引っ越しする時に全部消えて最初からになります。門限は11時半で、毎日点呼があります。点呼以降は寮の外に出られませんし、12時には学校の門が閉まってしまいます。

ルームメイトは学期ごとに申請できます。留学前に韓国人で希望を出しましたが、結局は他の大学から来た日本人の子でした。その子と仲良くなったので、1年間お互いで希望を出し続けました。シャロムハウスに移動する時は2人部屋か4人部屋を選択できます。私はその時4人部屋を選択したので、もともとのルームメイトとベトナム人とカンボジア人になりました。

### ⑨長期休暇の過ごし方

夏休みは1ヶ月間日本に帰りました。

### ⑩留学期間中の就職活動の取り組み

帰国してから就活するつもりだったので、特に何もしてませんでした。

## II. 留学の感想

### ①留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

韓国人の友達と遊びに行くのもすごく楽しかったけど、やっぱり1番はルームメイトとの思い出です。よくケンカしたし、1週間話さないなんてこともありました。でも、本当に色々な話をしたし、姉妹のように過ごしました。せっかくの留学だから楽しい思い出を残せるように、釜山に旅行に行ったり、花火大会を見に行ったり、おいしいと評判のお店に行ったり...なるべく2人での時は外に出るようにしました。

### ②留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

正規授業が大変でした。聞き取れることは聞き取れますが、教授の話すスピードは速いですし、その場でわからない単語を調べる時間ありません。1人で聞いていた授業は気を抜かないように頑張りました。

あとは、部屋によく虫が出たのですが、本当に虫が苦手なので、それを退治するのにすご

く苦労しました。

### ③文化・習慣の違いなどで驚いたこと

もともと留学前に何回か韓国に行ったことがあったので、韓国の文化に関して驚いたことはありません。ただ、初日にもらった布団が新品なはずなのに汚れていて、寮の先生にすぐに言いについても「そんなのどうしようもないから自分で洗って下さい」って言われた時に、日本の常識は通用しないなど改めて実感しました。それから何か腹が立つことや嫌なことがあっても、最終的には「ここは韓国だから仕方がない」と思うようになりました。

## Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

### ①留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、やっぱり季節ごとの景色がきれいだったことで、悪かった点は、寮や日本人担当の先生たちの対応です。

### ②日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

大体向こうでも同じ物が売ってあるし、特に役に立ったものはこれとってないと思います。ノートパソコンを持って行きましたが、寮にはパソコンが何台もありますし、なくても大丈夫なような気がします。私の場合は、部屋でレポートを書いてパソコン室で印刷していたので、USBが役に立ちました。

### ③語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

前半はひたすら語学力が上がっているのか心配になりました。でも、2学期が始まってからは、何となくで聞き取っていた友達の言葉がほとんど聞き取れるようになっていたし、友達にもうまくなったと褒められることが多くなって、少し自信ができました。一番留学の成果を実感できたのは、TOPIKでした。特に勉強をしたわけではありませんが、5級に合格することができました。

### ④これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

この留学で、韓国の良い面も悪い面もたくさん見てきて、もちろん理解できないこともあるけど、でもやっぱり韓国が好きだと思えたし、ずっと韓国語の勉強を続けていこうと思いました。また、韓国人以外の外国人の友達と出会ったことで、他の国の文化を知ることができたし、もっと他の国にも行ってみたいという興味が湧きました。この1年で自分の価値観がすごく変わったし、とてもいい経験ができました。

行く前は留学するかしないか何度も何度も悩んだけど、思い切って留学を決めて本当に良かったと思います。

社会人になったら留学に行けるような自由な時間はありません。学生の中の今しかないです！！留学して、良い思い出をたくさん作って下さい^^

#### IV. 将来の目標

一応卒業までに就職を決めることができましたが、いつかは韓国語を使えるような仕事をしたいと思っているので、英語と韓国語を勉強して転職しようと思っています。

#### V. 写真

9月に釜山の広安里で撮った写真です。奥に見えるのは広安大橋という有名な橋です。夜景がすごくきれいでした。



12月に雪が積もった時の校庭の写真です。すごく寒かったけど、写真を撮ったり、雪で遊んだりして楽しかったです。